

2016年4月吉日

参加チーム各位

実行委員会

2016年度日本マスターズ水泳短水路大会（相模原会場）

開催のご案内

拝啓 時下 貴チームにおかれましては、ますますご繁栄のこととお慶び申し上げます。

この度は、「2016年度日本マスターズ水泳短水路大会・相模原会場」にお申込みいただき誠にありがとうございます。

さて、大会の詳細が決まりましたのでご案内致します。各チームより、参加選手一人一人にご連絡いただきますようお願い致します。

2016年度日本マスターズ水泳短水路大会（相模原会場）は、313チーム1,421名の参加で開催される事になりました。

参加選手には必ず本紙内容をお伝え頂きご参加いただくようお願いいたします。

マスターズスイマーとして一人一人がエチケット・マナーを守るように心掛け、参加者全員が快適に水泳を楽しんでいただけるよう、各参加チームにご配慮・ご協力をお願い致します。尚、お車でのご来場は、ご遠慮いただくよう併せて参加選手にご連絡ください。

敬具

記

〈期 日〉 平成28年5月3日（火・祝）

〈場 所〉 相模原市立総合水泳場（さがみはらグリーンプール）
神奈川県相模原市横山5-11-1

〈スケジュール〉

	5月3日
開場時間（メインプール2階ホワイエ入口より入場）	7:30
ウォーミングアップ（A面・B面 水深1.4m） ※ダッシュレーン（A面折返し側より全レーン使用して行います）	7:35～8:35 ※8:00～ダッシュレーン
ダイビングプールは右記の通り、随時ウォームアップは可能です。（但し飛び込みは出来ません。水深は1.4m）	7:35～競技終了まで
チームリーダーミーティング	7:50～ B面招集所
競技役員打合せ	8:15～ 大会議室
開会式	8:45～
競技予定時間	9:00～15:51

前日から入場口前に荷物のみを置いたり並ぶことはできません。
当日の朝5時以降に会場へお越しく下さい。

<競技予定時間>

A 面					B 面				
No		種目	組数	時間	No		種目	組数	時間
1	女子	100m個人メドレー	13	9:00	2	男子	100m個人メドレー	14	9:00
3	女子	100mメドレーリレー	4	9:39	4	男子	100mメドレーリレー	4	9:39
5	女子	100m自由形	13	9:55	6	男子	100m自由形	18	9:55
7	女子	100m背泳ぎ	6	10:40	8	男子	100m背泳ぎ	8	10:40
9	女子	100m平泳ぎ	8	11:03	10	男子	100m平泳ぎ	12	11:03
11	女子	100mバタフライ	4	11:38	12	男子	100mバタフライ	7	11:38
13	混合	100mフリーリレー	3	12:01	13	混合	100mフリーリレー	3	12:01
14	女子	25m自由形	16	12:09	15	男子	25m自由形	15	12:09
16	女子	25m背泳ぎ	11	12:33	17	男子	25m背泳ぎ	7	12:33
18	女子	25m平泳ぎ	10	12:52	19	男子	25m平泳ぎ	11	12:52
20	女子	25mバタフライ	11	13:10	21	男子	25mバタフライ	11	13:10
22	混合	100mメドレーリレー	3	13:32	22	混合	100mメドレーリレー	2	13:32
23	女子	50m自由形	20	13:40	24	男子	50m自由形	27	13:40
25	女子	50m背泳ぎ	9	14:26	26	男子	50m背泳ぎ	9	14:26
27	女子	50m平泳ぎ	10	14:47	28	男子	50m平泳ぎ	16	14:47
29	女子	50mバタフライ	6	15:15	30	男子	50mバタフライ	12	15:15
31	女子	100mフリーリレー	3	15:40	32	男子	100mフリーリレー	5	15:40
競 技 終 了 時 間									15:51

*進行予定はあくまでも予定時間になります。実際の進行状況によって変わります。

*No. 13・22の4組～6組はB面で行います。

<チーム受付> チーム受付票を当日受付にご持参ください。

主催者・主管からの連絡事項

■（一社）日本マスターズ水泳協会競泳競技規則（抜粋）

- (1) 出発について（背泳ぎを除く）
 - a. 自由形・平泳ぎ・バタフライおよび個人メドレーのスタートは、スタート台、プールデッキおよび水中のいずれからでもできる。（MSW4.1）
 - b. 審判長の長いホイッスルによりスタート台またはプールデッキに上がった競技者は、スタート台前方またはプールデッキ前縁に少なくとも一方の足の指を掛けなくてはならない。（MSW4.1）
 - c. 水中からスタートする競技者は、審判長の長いホイッスルにより速やかにプールに入り、一方の手でスターティンググリップを持ち両足をプールの壁につける。（MSW4.1）
- (2) 背泳ぎについて
 - a. 競技中は、泳者の体の一部が常に水面上に出ていなければならない。折り返しの間、およびスタート後、折り返し後の壁から15m以内の距離では、体は完全に水没していてもよいが、壁から15mの地点までに、頭は水面上に出ていなければならない。（MSW6.4）
 - b. 折り返しの動作中は、肩が胸の位置に対して垂直以上に裏返しになってもよく、その後は折り返しを始めるために、速やかに一連の動作として、片腕あるいは同時の両腕のかきを使用することができる。（MSW6.5）
- (3) 平泳ぎについて
 - a. スタートおよび折り返し後の一かき目は、完全に脚のところまで持って行くことができる。その間泳者は水没状態であってもよい。スタート後、折り返し後に、最初の平泳ぎの蹴りの前にバタフライキックが1回許される。（MSW7.1）
 - b. 折り返しおよびゴールタッチは、両手が同時にかつ離れた状態で行わなければならない。タッチは水面の上下どちらでもよい。折り返しおよびゴールタッチ直前は足の蹴りにつながらない腕のかきだけになってもよい。（MSW7.6）
- (4) バタフライについて
 - a. 全ての足の上下動作は同時に行わなければならない。両脚・両足は同じ高さになる必要はないが、交互に動かしてはならない。一かきに一回の平泳ぎの足の蹴りは許される。折り返しおよびゴールタッチの直前は、一かきを行わずに一回の平泳ぎの足の蹴りが許される。また、スタートおよび折り返し後の一かき目の前も、一回の平泳ぎの足の蹴りが許される。（MSW8.3）
 - b. 折り返しおよびゴールタッチは、水面の上もしくは下で、両手が同時に、かつ離れた状態で行わなければならない。（MSW8.4）
 - c. 泳者はスタートおよび折り返し後は、水面に浮き上がるため、水中での数回のキックと一かきが許される。スタートおよび折り返しの後、体は完全に水没していてもよいが、壁から15m地点までに頭は水面上に出ていなければならない。また、次の折り返しあるいはゴールタッチまで体は水面上に出ていなければならない。（MSW8.5）
- (5) 招集について
競技者は、競技会の主管団体が公表した招集の要領に従い、出場前に出場の確認または点呼を受けなければならない。また、公表された組・レーンで出場しなければならない。（MSW10.4）
- (6) 競技終了後の退水について
泳者は、他の泳者が競技中であっても審判長に退水を指示されるまでは、自レーンの中にとどまってもよい。退水の際に、他の泳者が競技中であっても審判長の指示があった場合、他のレーンを横断することができる。ただし、指示に従わず他の泳者を妨害した場合は、失格となる。また、その他妨害行為をした場合も失格となる。（MSW10.9）
- (7) リレー競技の第1泳者の記録について
4×25mのリレー競技を除き、リレーの第一泳者の記録は新記録に申請することができる。（MSW13.5）
- (8) 水着の規定について
競技会で着用できる水着は、競技会開催日に本協会が公表している水着規定に準じる。（MSW15.1）

■競技進行上の注意

1. 競技方法について

- (1) 2016年（一社）日本マスターズ水泳協会競泳競技規則に則り行います。4月1日より競泳競技規則が一部変更になりました。選手は、前記した競技規則をご理解のうえ、出場してください。

- (2) 組み分けは、エントリーに従い男女別・年齢区分別に組み分けを行い高年齢から低年齢へ遅い組から速い組への順で行います。ただし、競技進行上の理由により、一部複数の年齢区分で組み分けを行う組もあります。
- (3) チーム受付は、各チームの代表者が行ってください。その際、同封の「チーム受付票」を受付へ提出してください。プログラム（お申込者のみ）・公認記録証・参加章をまとめてお渡しします。
- (4) リレーオーダー変更締切時
- | | | | |
|-------|-------|---------|-------|
| 女子・男子 | 4×25m | メドレーリレー | 8：15 |
| 混合 | 4×25m | フリーリレー | 9：45 |
| 混合 | 4×25m | メドレーリレー | 12：00 |
| 女子・男子 | 4×25m | フリーリレー | 14：00 |
- (5) リレーについて
- ① リレーオーダーの変更は、所定の用紙に必要事項を全て記入のうえ（プログラムNo・組・レーンも記入）変更締切時間までに、インフォメーションデスクへ提出してください。変更のない場合は、提出の必要はありません。
 - ② 変更は1度のみとなり、年齢区分の変更はできません。
 - ③ 同一リレー種目には、年齢区分にかかわらず1人1回しか出場できません。
 - ④ リレー種目の招集は、4名が揃わないと招集受付できません。
 - ⑤ リレーの第2泳者以降が水中からのスタートを希望するチームは、必ずインフォメーションデスクにて指定の用紙で申告または招集所で申し出が必要です。許可なく水中からスタートするためにプールに入った場合、失格になります。なお、世界記録に挑戦するリレーチームはFINAのルールが適用されるため、第2泳者以降が水中からスタートした場合、世界記録は認められません。

2. チームリーダーミーティング

5月3日（火・祝） 7：50 から プールサイドB面にて行います。

競技上の注意事項や規則改定について連絡します。必ずチームの代表者1名が出席してください。今年度の規則改正について説明します。

3. 招集

- (1) 招集では、招集員に組・レーン・名前を自己申告し招集受付をしてください。この際に選手確認のため、IDカード（誓約書欄に必ず署名がない場合は無効）を提示してください。
- (2) 招集所は、別紙見取り図にあります。
- (3) 招集所へは、ご自分の出場する種目、組の6レース前までに（25m種目は、10レース前までに）お越しください。競技の進行をご確認のうえ、招集遅れのないように注意してください。
- (4) 招集所では「第〇組」と組が呼ばれます。ご自分の出場する組であれば招集員に「組・レーン・名前」を自己申告し、招集受付を済ませ、指示に従い並んでください。ご自分の組とレーンは、忘れないように、また、間違わないように申告してください。
- (5) リレー種目は、出場者4名揃わないと招集受付できません。4名揃ったら、泳ぐ順に各人が自己申告し、招集受付をしてください。
- (6) 招集受付を済ませないといかなる理由であれ棄権となり出場ができません。

4. スタートについて

- (1) スタート前のメインプールでの水浴びは禁止です。水浴びはプールサイドに「水浴び用バケツ」を用意していますので、そのバケツで行ってください。
- (2) 前の組がスタートしたらスタート台の後ろに立ち、自分のレーンを確認してください。組・レーンを間違えると失格となります。
- (3) 公式スタート練習は、8：00～8：35に行います。公式スタート練習は、スタート規則の確認であり、飛び込み練習ではありません。
- (4) マスターズ水泳のスタートは、①スタート台上、②プールデッキ、③水中からのスタートが許されています。初めて競技に出場する選手や飛び込みの練習をしていない選手は、安全面から、プールデッキや水中からのスタートをお勧めします。

5. プールの上がり方

- (1) 個人種目の場合、ゴールタッチした選手は、横からプールサイドへ退水してください。(自分のレーンからも可能) また、競技役員の指示があった場合は指示に従い、他の選手の妨げにならないように注意してプールから上がってください。
- (2) 25m種目は、次の泳者がゴールタッチするまでに、速やかに上がってください。
- (3) リレー種目はゴールタッチした選手は競技役員の指示に従い、他の選手の妨げにならないよう、またタッチ板に触れないように注意してプールから上がってください。
25m以外の種目は、ゴールタッチした選手は、レーンロープにつかまり次の組がスタートした後にプールから上がってください。

6. 申告が必要な方

大会参加にあたって、以下の項目に該当する方は「出場申告用紙」にて出場種目開始予定時間1時間前までにインフォメーションデスクへ申告を行ってください。

- ① 世界記録に挑戦する方
※ 世界記録に挑戦する方は、【7. 世界記録申請および日本記録・世界記録該当者の着用水着について】を確認してください。「出場申告用紙」は不要です。
- ② テープ等をされる方
※ 本来テープ等は認められませんが、やむを得ず使用の承認を受ける必要のある方は使用状況を確認します。実際に泳ぐ際のテーピングを施した状態で確認を受けてください。
※ 指や関節を固定するテーピング、筋肉を補強するキネシオテープ等は申告を行っても許可できない場合がありますので注意してください。
- ③ 障がいの認定を受けている方で競技規則違反になる可能性がある方
※ エントリー時に申告している方は、再度申告の必要はありません。
- ④ 出場に介助が必要な方
※ 出場に介助が必要な方は、チームから介助者を帯同してください。その際、介助者は招集席からスタート席まで付くことはできませんが、スタートの介助はできません(一緒に水中に入ることは不可)。ゴール後は役員の指示を優先し介助してください。
- ⑤ リレーの第2泳者以降が水中からスタートするチーム
※ 世界記録に挑戦するチームの第2泳者以降が水中からスタートした場合、世界記録を突破しても世界記録の公認はされません。

7. 世界記録申請および日本記録・世界記録該当者の着用水着について

世界記録の達成が予想される選手およびチームは、出場するレースの1時間前までに規定用紙に必要事項を記入のうえ、インフォメーションデスクへ必ず申告してください。また世界記録を達成された場合、泳者の生年月日を証明する「パスポートのコピーまたは住民票のコピー(3ヶ月以内のもの)」が必要となりますので準備してください。

世界記録突破者は、競技終了後、水着着用の写真を撮影します

F I N A承認水着を着用していない選手の記録は新記録としては認められません。

8. 表彰について

- (1) 出場選手全員に参加章および(一社)日本マスターズ水泳協会公認記録証を授与します。
- (2) 個人種目、リレー種目とも各会場の男女別・種目別・年齢区分別の各上位3位までメダルを授与します。ランキング発表後入賞者は、メダル受渡所にてIDカードを提示しメダルを受け取ってください。
- (3) マスターズ日本記録を突破した選手に日本新記録樹立証を授与します。
- (4) マスターズ世界記録を突破した選手に世界記録突破証を授与します。

9. 異議申し立て

競技開始前に判明した異議は、そのレースの出発の合図の前までに、審判長に文章にして提出してください。競技の失格内容や状況等に異議がある時は、そのレース終了後30分以内に抗議書に内容を記入し、抗議料5,000円を添えてインフォメーションデスクに提出してください。抗議書の内容を大会総務で検討し裁定します。なお、抗議の申請はチームの責任者に限られます。(一般選手からの抗議の申請は受けません。)抗議内容が承認された場合は抗議料を返金しますが、抗議内容が却下された場合は抗議料は返金しません。その他、違反内容の問合せについては、規定用紙に記入のうえ、インフォメーションデスクに申し出てください。

10. 健康管理

- (1) 大会中の健康管理は本人の責任とし、ご自分の体調には十分留意してください。
- (2) 会場内で、ケガや体調が悪くなった場合は、医務室にて救急処置は行いますが、その後の処置は参加者側で行ってください。
- (3) 当日、ご自分の体調に不安を感じたら棄権してください。また、仲間の方も棄権を勧めてください。特にリレー種目では1人の選手が体調不良の場合、仲間が棄権を勧めることが大切です。
- (4) 各チームは所属する参加者について次のことを確かめてください。
 - a. 医師の健康診断または自己申告に基づいて健康に異常がないこと。
 - b. 競技会当日より前1ヶ月間、週1回以上の水泳練習を行っていること。
 - c. 「マスターズ水泳キーワード9」をよく理解し、参加すること。
- (5) 大会期間中、大会医務委員により出場停止の勧告がされた場合は、その指示に従うこと。

11. 貴重品の管理

貴重品は、個人またはチームで管理してください。選手控え室・観覧席・プールサイドに小銭入れ・カードケース・携帯電話を入れた袋を放置したままウォーミングアップを行い、その間に盗難に遭うケースがよくあります。仲間同士で管理しあうようお願いいたします。

12. IDカードについて

- (1) 2次要項同封のIDカードの誓約書欄に必ず署名をしてください。署名がない場合は招集が受けられません。また、裏面の大会当日緊急時の連絡先の記入も忘れずをお願いします。
- (2) 大会当日IDカードを紛失および忘れた場合は、会場のインフォメーションデスクにて再発行を行ってください。なお、再発行料として500円が必要です。

13. カメラ・ビデオ・携帯電話の撮影について

撮影許可なしでカメラ・ビデオ・携帯電話での撮影をすることはできません。

選手・応援者の方で、カメラ・ビデオ・携帯電話での撮影を希望される方は、受付にて撮影の許可証を受取り、撮影の際は必ず見える場所に着用してください。許可証をなしにカメラ・ビデオ・携帯電話での撮影をしている不審者を見かけた場合は、大会本部へ連絡してください。なお、撮影許可証があっても、メインプール側プールサイドでの撮影はできません。

14. 施設利用の注意事項

- (1) 更衣室のロッカーは使用禁止です。不正使用しロッカーが開かなくなった場合、大会終了後に対応します。修理等必要な場合実費精算をしていただきます。
- (2) 会場内での飲食は決められた場所で行ってください。(観覧席裏側通路)
貴重品は各自またはチームで保管してください。盗難等があっても一切責任は負えません。
- (3) ごみは各チームで持ち帰ってください。必ずごみ袋を持参してください。
- (4) プールサイド・更衣室は履物禁止です。履物は各自袋に入れ素足で利用してください。
- (5) プールサイド・更衣室以外は水着姿では利用できません。
- (6) 館内は全館禁煙です。
- (7) 車での来場は近隣の方のご迷惑となるため、禁止です。
- (8) 観覧席・ロビー・プールサイドでのシート敷き、場所取りはできません。
- (9) 荷物は会場に置いて帰らないようにお願いします。置いてある荷物は終了後、撤去します。
- (10) その他施設は、他の団体が使用されています。マスターズ関係者は立ち入り禁止となります。

15. 個人情報ならびに肖像の取り扱いについて

本大会にあたり取得した個人情報ならびに肖像の取り扱いについては、以下のとおりです。

① 個人情報

- ・ プログラム、ランキング作成を含む競技会運営に使用します。
- ・ 競技結果としてホームページ、マスターズニュース等の媒体に掲載します。

② 肖像

- ・ 大会報告としてホームページ、マスターズニュース等の媒体に使用します。
- ・ 以降マスターズ水泳の普及活動のために使用します。
- ・ 大会主催者が定めた撮影者によって撮影されたすべての映像は本協会に帰属します。

16. 会場内での撮影について

競技会において、参加選手または関係者等が私的に撮影した動画や画像をYouTube等のWEBサイトやその他の公な場所に公開するためには、必ず各権利者の許諾を公開者が受けるようお願いいたします。また、会場BGMをそのまま使用すると著作権の侵害となりますので注意してください。なお、撮影許可証は会場内での撮影を許可するものであり、これらの権利を許諾するものではありません。

17. 大会当日緊急時の連絡先について

申込時およびIDカードに記入の大会当日緊急時の連絡先については、事故・怪我の発生など万が一の際に使用します。これらの目的以外で使用することはありません。チーム責任者の方も下記のとおり、準備をお願いします。

※ 緊急時の連絡先とは、選手のご家族等に急を要する連絡の取れる電話番号のことです。

- (1) 責任者が会場へ同行される場合
出場者全員の緊急時の連絡先を把握し持参してください。
- (2) 責任者が会場へ同行しない場合
大会当日、緊急時の連絡先についての問合せをした際に伝えられるよう準備してください。

18. その他

- (1) 選手席は2階観覧席です。
- (2) リレーオーダー変更用紙・棄権の申し出用紙は、コピーして利用してください。
- (3) 棄権者はチームでまとめて棄権申し出用紙に記入のうえ、インフォメーションデスクに提出してください。
- (4) 貴重品ロッカーとしてチーム参加者2名以下のチームにロッカーキーを優先的にお貸します。
なお、ロッカー数には限りがありますのでご了承ください。
希望のチームは別紙「ロッカー使用禁止について」の案内を確認し、「ロッカー使用申請書」に必要事項を記入のうえ、代表者が受付へ申請書を提出し鍵を受け取ってください。ただし、鍵1つの預かり金2,000円をお預かりします。2,000円は鍵返却時にお返しします。(鍵を必ず返却していただくための措置) つり銭のないようお願いいたします。(できるだけ千円札2枚をお願いいたします。)もし、鍵を紛失されますと5,000円補償金をお支払い頂きます。
- (5) 大会当日の忘れ物は主管団体の協栄スイミングクラブ座間で終了後1週間保管を致します。大会会場では管理をしていませんので、問い合わせはご遠慮ください。
- (6) 大会記念品を販売します。大会参加の記念にお買い求めください。
- (7) 大会当日、社会情勢ならびに天変地異の不可抗力により中止となった場合は、「参加章(バッジ)」「プログラム(申込分)」はチームへお渡ししますが、エントリー料は返金できません。

更衣室通路側

会場図

男子一部種目 A面にて競技
女子一部種目 B面にて競技
プログラム・競技順序でご確認下さい。

シャワー

A面招集所

25Mスタートサイド

スタート位置

A面

女子種目

機械

スタート位置

50M・100Mスタートサイド

大会本部席・通告席

B面25M招集所

25Mスタートサイド

スタート位置

B面

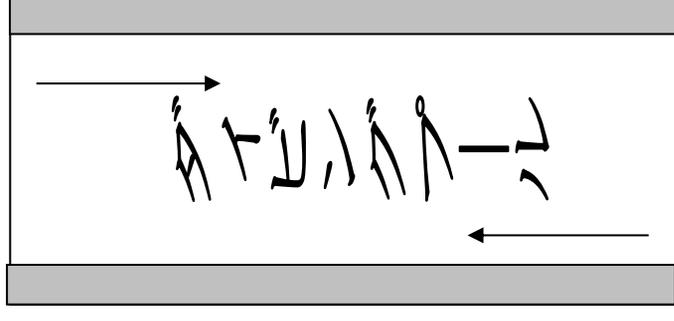
男子種目

機械

スタート位置

50M・100Mスタートサイド

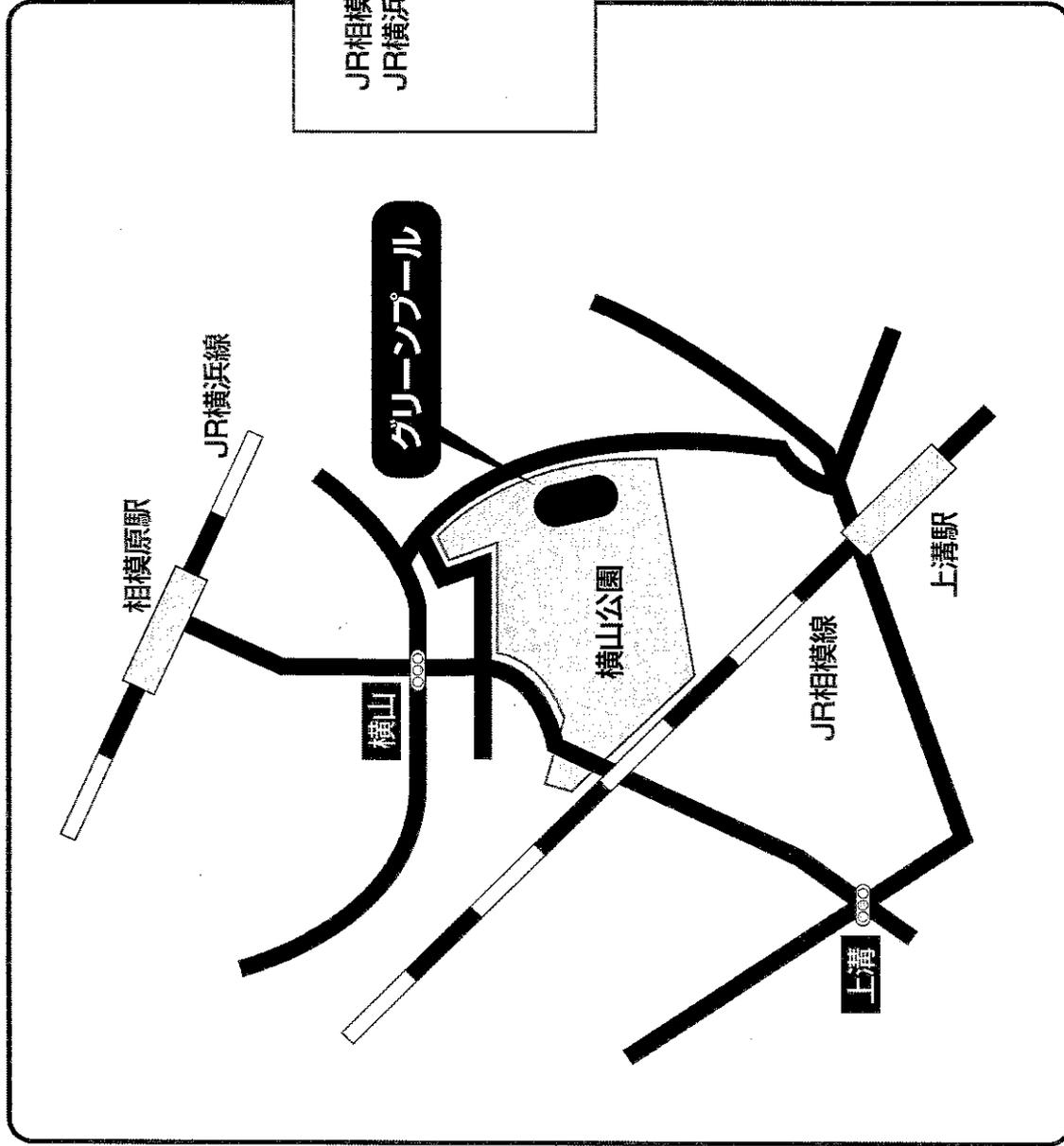
B面招集所



両端コースのみ使用禁止

観覧席

【グリーンプールアクセス】



JR相模線利用：上溝駅下車・徒歩10分

JR横浜線利用：相模原駅下車・バス乗換え

「グリーンプール入口」下車・徒歩10分

「星ヶ丘住宅前」下車・徒歩10分

淵野辺駅下車・バス乗換え

「上溝」下車・徒歩10分